

アジア太平洋地域 署名レター：GEF 公約のアカウンタビリティと市民社会のエンゲージメント
期限：2021年8月15日

私たちはアジア太平洋地域の XX インターセクショナル フェミニスト市民社会組織として、本書面を提出します。

私たちは、先日開催されたジェンダー平等を目指す全ての世代のためのフォーラム（ジェネレーション・イクオリティ・フォーラム（GEF））が、ジェンダー平等達成とエンパワーメントの推進力とコミットメントを強める機会になったことに、勇気づけられました。また複数のステークホルダーにより、これら目標や GEF 行動連合が描いた詳細計画のターゲットや公約達成のために 400 億米ドルの拠出がされたことを喜ばしく思います。

しかしながら私たちは GEF 開催中また準備期間中におけるアジア太平洋地域との連携不足やリソースの割当不足など、GEF においてアジア太平洋地域が優先されていなかったことに強い懸念を示します。アジア太平洋地域は世界の 60%以上の若者が生活する、世界最大の人口を抱える地域です。女性や周縁化された人々が不均衡に大きな被害を受ける、気候災害への脆弱性が高い地域でもあります。東南アジアの女性の約 40%、太平洋地域の女性の約 68%が、親密なパートナーによる性とジェンダーに基づく暴力を受けています。

太平洋地域は国会における女性代表の割合が世界で最も低い地域でもあります。

GEF はこれらの問題を各国政府と対話するための場と想定されており、私たちはパリフォーラムが私たちの重要かつ共同のアドボカシー事案を提示するプラットフォームを設けてくれることを期待していました。

しかしながらパリフォーラムの開会式、閉会式においてアジア太平洋地域の政府代表が全く参加しておらず、当該地域のフェミニストリーダーや特定のグループの代表-例えばセックスワーカーやトランスジェンダーの人々は、フォーラム期間中を通じて目に見える形での参加がありませんでした。このことはジェンダー平等を当該地域で推進するため、そして世界的なジェネレーションイクオリティの現状を正確に反映する上で、大きな機会喪失でした。

さらに私たちは GEF における 6つの行動連合のひとつである「気候正義のためのフェミニスト行動連合」への、経済的公約が期待はずれなほど欠如していたことに対して、緊急に注意を喚起します。既にアジア太平洋地域では日常的に気候及び生態系への危機による損失や被害を被っているのです。

私たちはまた、オンラインプラットフォームへのアクセスの不便さも深く懸念します。GEF イベントの開催時間や言語はアジア太平洋地域のフェミニストにとって障壁となり、またプラットフォームの技術はヨーロッパから離れた地域からのアクセスのしやすさを念頭に置かれたものではありませんでした。手話通訳や画面字幕、複数言語での画面読み上げ機能など、障害を持つ人びとのアクセスのしや

すさが容認しがたいほど欠如していました。

言語は女性や少女たち、それ以外にも英語あるいはフランス語を理解しない人々にとって、大きな障壁になりました。

GEF パリのプラットフォームは全体的に上手く機能しておらず、多くのセッションはバッファリング、モデレータの不備、セッション中に技術スタッフの会話が聞こえる等の技術的な問題によって中断されることがありました。

もし GEF が真に包摂的であろうとするならば、このような障壁は無くされなければなりません。

障害者差別、異性愛規範、家父長制、植民地支配の遺産により周縁化された人びとの参加を確実にしない事には、私たちはジェンダー平等を達成することはできず、「誰も取り残さない」は空のレトリックで終わってしまうでしょう。

GEF は行動連合の「インターセクショナルリティ（交差性）、フェミニストリーダーシップ、トランスフォーメーション（変容）」の原則を守り、そして体現するべきです。

今後のプロセスを進めるにあたり、私たちは誠意をもって GEF に関わっていきますが、GEF の内容、構造、そしてプロセスにおけるアカウンタビリティ強化と透明性を求めます。私たちは協働することで、アジア太平洋地域の国々を動員することができ、ジェンダー平等への推進力を高め、GEF 公約のアカウンタビリティを確保し、それら公約が迅速に現場の草の根、先住民および地域の女性、フェミニストなどのグループに承継されるようにできます。

私たちは推奨します

- 行動連合を包括的で実践的な共同体に変容させること。すべての人がアクセスでき、地域の実践共同体を設立して、地域の国連機関や開発機関のリソースを活用し、インターセクショナルフェミニストや、さまざまな多様性を持つ女性、例えば都市部の貧困地域、インフォーマルな居住地、地方や沿岸部に住む人びと、セックスワーカー、LGBTQI+、ノンバイナリーの人びとや障害を持つ人びとの活動を支援すること
- 利用可能で、十分で、持続可能、かつ柔軟な資金を市民社会、フェミニスト、女性、コミュニティ、草の根、ユース組織に提供すること
- 今年中に強靱かつ効果的なアカウンタビリティフレームワークを、地域、国、グローバルレベルで設立し、すべての行動連合リーダー、コミットメントメーカーの公約をモニターすること
- アジア太平洋地域のインターセクショナルフェミニストや市民社会グループと協働して、政府、地域の開発機関、ドナーへのアドボカシーを行うこと。適切な拠出が行われ、草の根レベルでの変革的なインパクトを測定するための堅固で包括的なアカウンタビリティフレームワークを導入する

こと

- 「気候正義のためのフェミニスト行動連合」の活動と、すべての行動連合による世界的かつ横断的な気候変動、環境とジェンダー平等達成への政治意志向上キャンペーン実施のために、GEF が緊急にファンドレイジングを実施すること
- GEF プロセスの計画と実行の進捗に合わせたアジア太平洋地域のマルチステークホルダーグループとの協働を強化すること。これには、アジア太平洋地域において、誰も取り残さないために今後開催されるすべてのフォーラムやアカウンタビリティ機能を含むこと

GEF の公約や行動連合がジェンダー平等を促進し、アジア太平洋地域を含む、世界中のすべての地域で、平等、公正、平和で環境的に持続可能な未来に向けた、女性の人権の実現を支持します、私たちは共にリーダーシップを発揮し活動することを期待しています。